

「魅惑のエクスペリメント」シリーズⅠ

諸戸 詩乃

ヴァレンタイン
ピアノ・リサイタル～クララ・シューマンとブラームス～
ロマン派ピアノに秘められた愛モーツァルト：ファンタジー ニ短調 K.397
Mozart: Fantasie d-moll K.397～ソナタ ニ長調 K.311
～Sonate D-Dur K.311クララ・シューマン：3つのロマンス Op.21
Clara Schumann: Drei Romanzen für Piano Op.21第1曲 イ短調
a-moll第2曲 ヘ長調
F-Dur第3曲 ト短調
g-mollブラームス：
「ピアノのための6つの小品」Op.118より
Brahms: aus den "Sechs Stücke für Klavier" Op.118第1曲 間奏曲 イ短調
Intermezzo a-moll第2曲 間奏曲 イ長調
Intermezzo A-Dur第5曲 ロマンス ヘ長調
Romance F-Dur第6曲 間奏曲 変ホ短調
Intermezzo es-mollクララ・シューマン：即興曲「ウィーンの思い出」Op.9
Clara Schumann: Souvenir de Vienne, Impromptu pour le Piano Op.9

2023年2月11日(土・祝) 13:30開演(13:00開場) 一般自由席 ¥2,000

チケットのお求めは
10月9日(日)
10時より 販売開始● 宗次ホールチケットセンター ① TEL:052 (265) 1718
② インターネット予約→
● チケットぴあ WEB購入=<https://t.pia.jp/> 店頭購入=セブンイレブンくらしの中にクラシック
宗次ホール
Munetsugu Hall営業時間:10:00～16:00 不定休
(終了時間は17:00もしくは18:00の場合有)※やむをえず、曲目などに変更がある場合がございます。あらかじめご了承ください。※未就学児のご入場は、ご遠慮ください。
※団体のお客様の為に席の一部を確保させていただく場合がございます。

～クララ・シューマンとブラームス ロマン派ピアノニズムに秘められた愛～

ブラームスよりクララへ。 “高い山から、深い谷から、あなたに千たびものご挨拶を！”

『クララ・シューマン ヨハネス・ブラームス 友情の書簡』みすず書房 より



ウィーンでピアノを学んで20年、古典派、ロマン派の音楽について、色々な先生方から貴重な薫陶を受けてきました。

なかでもモーツァルトは深く学んだ作曲家の一人で、今回のリサイタルの幕開けとして「ファンタジー」(K.397)と「ソナタ」(K.311)を2曲連続して演奏する形でお届けします。モーツァルトには、ハ短調ファンタジー(K.475)とハ短調ソナタ(K.457)を繋げて演奏するというスタイルがあり、今回の2曲もその可能性が高いと言われています。

クララ・シューマンとブラームスの音楽については、時代考証演奏法の大家クライブ・ブラウン教授のもとで学ぶことができ、現在の私のロマン派ピアノ演奏の基礎となっています。

クララとブラームスは、ブラームスがシューマンのもとを訪れた1853年に知り合い、その交友は一生涯続きました。二人の間には秘められた愛があったと言われています。

今回取り上げるクララ作曲の「3つのロマンス」(Op.21)はブラームスに贈られたもので、メランコリックでありながらもどこか情熱的で迸り出るような曲調をもっています。クララとブラームスが知り合った頃に作曲され、ブラームスはまだ二十歳でした。

ブラームス作曲の「ピアノのための6つの小品」(Op.118)は6曲からなる小品集。そのうち第2曲「間奏曲」はクララに捧げられたものです。ゆったりとした起伏のなかにやさしい情感の漂う美しい曲で、ブラームス晩年の傑作とっていいでしょう。クララはすでに70歳を超えていました。

クララの即興曲「ウィーンの思い出」(Op.9)は、彼女がウィーンでリサイタルをした時の思い出を回想しているかのような宮廷風で華やかな曲想で、クララらしいピアノニズムに溢れた曲です。

クララとブラームスが、それぞれの音楽に託した想いを少しでも表現できたら、と思っております。

ピアノ 諸戸 詩乃 Shino Moroto, Piano

愛知県生まれ。10歳のときにウィーンへ移住。ウィーン国立音大ピアノ準備科を経て、15歳でウィーン国立音大ピアノ演奏科に入学。エリザベート・ドヴォラック＝ヴァイスハール、故ハンス・ライグラフ、ポール・ヒルに師事。また、マスタークラス等において、フィリップ・アントルモンや遠山慶子にも教えを受けた。2018年3月同大学院を卒業。さらに19世紀時代考証演奏法のクライブ・ブラウン博士のもとで薫陶を受ける。

演奏活動では、ウィーン・フィガロザールでのソロリサイタルを皮切りに、バーゼンドルフアー社やシュベルト連盟主催のコンサートに多数出演。またイタリアにおいても、ボローニャ歌劇場管弦楽団首席メンバーと各地でたびたび共演し、好評を博した。わが国においては、2005年、NHKのテレビ番組「スーパーピアノレッスン」にシリーズ最年少の生徒役で出演、そのモーツァルト演奏は講師のアントルモンから「きわめて洗練されたモーツァルト」との評価を受けた。また、日本・オーストリア国交150周年の2019年には、ウィーナ・ノイシュタットでの記念コンサートに、日本人ピアニストの代表として出演し、多くの聴衆に喝采を浴びた。その他浜離宮朝日ホール、電気文化会館ザ・コンサートホール、愛知県芸術劇場コンサートホール等に出演し、好評を博した。

これまでに、カメラータ・トウキョウから、「モーツァルトピアノソナタ集」、「シュベルト即興曲集作品90&楽興の時」、「モーツァルト変奏曲集—トルコ行進曲付き」(レコード芸術誌準特選盤)の3枚のアルバムをリリースしている。

日本アーティスト所属。

【お客様へのお願い】

発熱など、体調に不安のある方はご来場をお控えください。

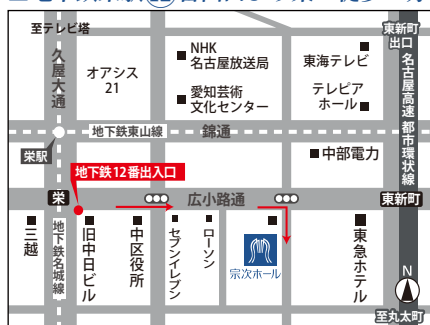
来館時、お手洗い使用後の手洗いや消毒にご協力ください。

館内ではマスクを着用してください。

開場時、お手洗い利用時の整列では間を空けてお並びください。

スタッフの勤務方法と共に、この他にも各感染予防対策を実施いたします。
詳しくは、ホームページwww.munetsuguhall.comをご覧ください。

■地下鉄栄駅⑫番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック


宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 ☎460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com
営業時間 10:00～16:00 不定休
(終了時間は17:00もしくは18:00の場合あり)